

# 肝硬変患者のQOLの向上及び予後改善に資する研究に関する患者さんの情報の研究利用についてのお知らせ

この度国立病院機構東京医療センター消化器科では、「肝硬変患者のQOLの向上及び予後改善に資する研究」に参加することになりました。この研究の目的は、ウイルス性肝硬変患者（B型肝硬変/C型肝硬変）さんの治療結果を調べて、その合併症などのイベント発生状況、生命予後、治療介入の効果を明らかにすることです。この研究のため、2011年4月1日より2012年3月31日まで通院、治療中の方と2016年10月1日より2017年12月31日までに外来通院加療中の方の診療録、血液や画像検査、病名、治療経過などデータ、握力測定値等調査を行います。対象となるのはウイルス性肝硬変（B型肝硬変/C型肝硬変）で治療を行った方で、調査項目は個人情報を含まない医学的な情報（病名、治療経過など）のみです。患者さんのお名前、住所などのプライバシーに関する情報が外部に漏れることは一切ありませんのでご安心下さい。調査したデータは本研究の代表であります国立病院機構長崎医療センター臨床研究センターにエクセルデータの電子送信にて送付され厳重に管理されます。本研究における他の参加施設情報については

[https://nagasaki-mc.hosp.go.jp/outpatient/notice\\_of\\_research.html](https://nagasaki-mc.hosp.go.jp/outpatient/notice_of_research.html) をご覧ください。また、今回の研究で得られた結果に関しては、医学的な専門学会や専門雑誌等で報告されることがあります。また、ご自身のデータを研究に利用することを承諾されない方は下記にご連絡下さい。その場合も、診療上何ら不利な扱いを受けることはありません。この件に関しましてご質問等がございましたらご遠慮なくお尋ね下さい。

2020年8月

研究責任者

東京医療センター 消化器内科

菊池 真大

連絡先 03-3411-0111(代表)